

- 問1 日本銀行の業務に関する説明として、民間の銀行（普通銀行）の業務とは異なる、中央銀行としての正しい役割はどれですか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 一般の銀行を対象として、資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。 | 2. 企業の将来性を審査し、新しい事業を始めるための資金を直接融資する。 | 3. 企業間の不当な価格操作が行われないよう、市場を監視する。 | 4. 個人の預金者に対して、預けられた金額に応じた利息を支払う。 |
|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
- 問2 日本の中央銀行である日本銀行が、「政府の銀行」として行っている業務として最も適切なものはどれですか。（2018年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|------------------------------------|----------------------------|--------------------------------|
| 1. 一般の家計から預金を預かり、企業への貸し出し業務を行う。 | 2. 地方公共団体が実施する公共事業の計画を策定し、予算を配分する。 | 3. 国債の発行や、税金など政府の資金の管理を行う。 | 4. 日本銀行券を発行し、世の中に出回る通貨の量を調節する。 |
|---------------------------------|------------------------------------|----------------------------|--------------------------------|
- 問3 日本銀行がおこなっている、国が集めた税金をあずかったり、国が必要とする支払いを代わりにおこなったりする役割を何といいますか。（2018年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 民間の銀行 | 2. 商店の銀行 | 3. 政府の銀行 | 4. 海外の銀行 |
|----------|----------|----------|----------|
- 問4 景気が過熱し、インフレーションの恐れがある場合に政府が行う財政政策として、経済を安定させるための適切な組み合わせはどれですか。（2026年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 公共事業を減らし、同時に減税を行うことで、企業の投資意欲を高める | 2. 公共事業を増やしたり、減税を行ったりして、社会全体の需要を刺激する | 3. 公共事業を減らしたり、増税を行ったりして、社会全体の需要を抑制する | 4. 公共事業を増やし、同時に増税を行うことで、財政赤字の解消を優先する |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問5 日本では、2024年度から北里柴三郎の肖像が描かれた新しい千円札などの紙幣が導入されました。これらの「日本銀行券」を国内で唯一発行することができる、日本銀行が持つ役割を何といいますか。（2021年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 銀行の銀行 | 2. 普通銀行 | 3. 発券銀行 | 4. 政府の銀行 |
|----------|---------|---------|----------|
- 問6 日本銀行が景気を向上させるために実施する「買いオペレーション」という仕組みと、その結果として期待される物価の動きの組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 日本銀行が市中銀行へ国債などを売り、代金を受け取ることで通貨量を増やし、物価を上昇させる。 | 2. 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、代金を支払うことで通貨量を減らし、物価を安定させる。 | 3. 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、代金を支払うことで通貨量を増やし、物価を上昇させる。 | 4. 日本銀行が市中銀行へ国債などを売り、代金を受け取ることで通貨量を減らし、デフレーションを維持する。 |
|--|--|--|--|
- 問7 景気の過熱や物価の上昇を抑えるために日本銀行が行う「公開市場操作」において、保有する国債などを一般の金融機関に売却し、市場に流通する通貨量を減少させる操作を何といいますか。（2026年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------|------------|-----------|--------------|
| 1. 売りオペレーション | 2. 預金準備率操作 | 3. 公定歩合操作 | 4. 買いオペレーション |
|--------------|------------|-----------|--------------|
- 問8 家計、金融機関、企業の三者間における資金の流れを説明した以下の文のうち、間接金融の仕組みを正しく述べているものはどれですか。（2026年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 家計が金融機関に預けた資金を、金融機関が仲介役となって企業へ貸し出す仕組み。 | 2. 家計が企業の株式や社債を直接購入し、企業がその資金を事業に活用する仕組み。 | 3. 政府が家計から税金を徴収し、公共事業などを通じて企業に資金を供給する仕組み。 | 4. 日本銀行が市中銀行との間で国債を売買し、世の中に出回る通貨の量を調整する仕組み。 |
|---|--|---|---|
- 問9 日本の家計や経済において、外国為替相場が「円安」に振れた際に生じる社会的な影響として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---------------------------------------|
| 1. 日本を訪れる外国人観光客にとって日本での滞在費が割高に感じられ、観光需要が減少する | 2. 円の価値が高まるため、海外投資を行っている投資家が日本円に資産を戻しやすくなる | 3. 輸入に頼っている原油や小麦などの輸入価格が上昇し、国内の物価を押し上げる要因となる | 4. 海外製品が安く手に入るようになるため、国内の消費者の購買意欲が高まる |
|--|--|--|---------------------------------------|
- 問10 日本銀行を中心とした資金の流れについて説明した次の文のうち、中央銀行の仕組みとして正しいものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 日本銀行は一般の銀行との間で預金の受け入れを行うが、政府との間では資金のやり取りは行わない。 | 2. 日本銀行は政府の資金を取り扱う一方で、一般の企業に対しては直接、設備投資のための貸し出しを行う。 | 3. 日本銀行は政府の資金である国庫金を取り扱うほか、一般の銀行との間で資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。 | 4. 日本銀行は家計（個人）からの預金を直接受け入れ、その資金を一般の銀行へ貸し出す役割を持つ。 |
|---|---|---|--|
- 問11 銀行の役割を示したモデルにおいて、左側に「預金を行い利子を受け取る家計」、中央に「銀行」、右側に「貸し出しを受け利子を支払う企業」が位置していると想定します。この仕組みにおいて、銀行が安定して利潤を生み出し続けるために必要な条件として、正しいものはどれですか。（2022年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|------------------------------------|
| 1. 企業から受け取る貸し出し金利が、家計へ支払う預金金利を上回っていること。 | 2. 家計へ支払う預金金利が、企業から受け取る貸し出し金利を上回っていること。 | 3. 預金金利と貸し出し金利が常に等しく、家計と企業の間で利子の移動がないこと。 | 4. 銀行が仲介をせず、家計が企業に対して直接資金を貸し付けること。 |
|---|---|--|------------------------------------|
- 問12 日本銀行が、景気の過熱や物価の急激な上昇を抑えるために行う「公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）」の仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。（2026年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 日本銀行が政府から直接国債を買い取り、公共事業の予算を増やすことで、市場の通貨の量を調整する。 | 2. 日本銀行が保有する国債を市中銀行に売り、市場に流通する通貨の量を減らすことで、景気を抑制する。 | 3. 日本銀行が市中銀行に対して預金準備率を引き下げよう命じ、企業への貸し出しを容易にさせる。 | 4. 日本銀行が市中銀行から国債を買い取り、市場に多くの代金を支払うことで、通貨の量を増やし景気を刺激する。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 一般の銀行を対象として、資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。	日本銀行は、私たち個人や一般の企業が直接口座を作って取引をすることはできません。日本銀行は民間の金融機関との間で資金をやり取りするため、「銀行の銀行」と呼ばれます。個人の預金に対する利息の支払いや一般企業への融資は、民間の普通銀行が行う業務です。また、価格操作の監視は公正取引委員会が担当しています。
問2	答え 3 国債の発行や、税金など政府の資金の管理を行う。	日本銀行は、国が発行する国債の事務や、税金をはじめとする政府の資金（公金）の出納・管理を担当しており、この役割を「政府の銀行」と呼びます。これに対し、日本銀行券の発行は「発券銀行」としての役割であり、一般の家計からの預金受け入れは、日本銀行では行われない業務である点に注意が必要です。
問3	答え 3 政府の銀行	日本銀行は国のお金を管理する特別な役割を担っており、税金などの国のお金を大切に保管したり、橋や道路を作るための費用を国にかわって支払ったりしています。この働きから「政府の銀行」と呼ばれています。
問4	答え 3 公共事業を減らしたり、増税を行ったりして、社会全体の需要を抑制する	政府は景気を調整するために、支出（公共事業）と収入（税金）を操作します。景気が良すぎる（過熱している）ときは、道路建設などの公共事業を削減して政府支出を抑えるとともに、増税によって国民や企業が自由に使えるお金を減らします。これらの措置によって、社会全体の買い物の勢い（総需要）を抑え、物価の安定を図ります。
問5	答え 3 発券銀行	日本銀行は、日本で唯一の「日本銀行券」を発行する権限を持つ中央銀行です。この役割を「発券銀行」と呼び、私たちが普段使用している一万円札、五千円札、千円札などの紙幣を供給しています。一方、硬貨（貨幣）については日本銀行ではなく政府が発行しています。
問6	答え 3 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、代金を支払うことで通貨量を増やし、物価を上昇させる。	買いオペレーションは、日本銀行が民間の金融機関（市中銀行）から国債などを買い入れる操作を指します。これにより、代金として日本銀行から市中銀行へ現金が支払われるため、市場に出回る通貨の量が増加します。お金の量が増えて借りやすくなると、モノやサービスへの需要が高まり、下落傾向にあった物価を上昇に転じさせることが期待されます。
問7	答え 1 売りオペレーション	景気が良すぎて物価が上がりがすぎるのを防ぐため、日本銀行は市場の通貨量を減らそうとします。日本銀行が国債を金融機関に売ると、その代金が民間から日本銀行に支払われるため、世の中に出回る通貨の量が減少します。この一連の流れを公開市場操作の「売りオペレーション」と呼びます。
問8	答え 1 家計が金融機関に預けた資金を、金融機関が仲介役となって企業へ貸し出す仕組み。	間接金融では、家計から預金として集められた資金が、金融機関というフィルターを通して企業へと流れます。これに対し、家計が直接株式などを買う仕組みは直接金融と呼ばれます。金融機関が間に入ることで、個々の家計は直接的な投資リスクを避けることができます。
問9	答え 3 輸入に頼っている原油や小麦などの輸入価格が上昇し、国内の物価を押し上げる要因となる	円安になると、同じ1ドルの商品を輸入する際により多くの円を支払う必要が生じます。日本はエネルギー資源や食料の原材料を海外に大きく依存しているため、円安が進行すると輸入コストが増大し、電気料金や食料品などの身近な物価の上昇（インフレ）を招く原因となります。
問10	答え 3 日本銀行は政府の資金である国庫金を取り扱うほか、一般の銀行との間で資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。	日本銀行の取引相手は、大きく分けて「政府」と「金融機関（一般の銀行など）」の2つに限定されています。政府に対しては「政府の銀行」として、一般の銀行に対しては「銀行の銀行」として機能します。企業や家計（個人）が直接、日本銀行に預金をしたり融資を受けたりすることはありません。
問11	答え 1 企業から受け取る貸し出し金利が、家計へ支払う預金金利を上回っていること。	銀行は「間接金融」の代表的な機関であり、預金者から集めた資金を自らの責任で貸し出します。銀行の経営を成り立たせるためには、貸し出し先から回収する利子の総額が、預金者に払い戻す利子の総額よりも多くなければなりません。したがって、貸し出し金利を預金金利よりも高く設定することが、銀行のビジネスモデルの根幹となります。
問12	答え 2 日本銀行が保有する国債を市中銀行に売り、市場に流通する通貨の量を減らすことで、景気を抑制する。	景気が過熱している（好況）ときは、市場に流通する通貨（お金）の量を減らすことで、経済活動を落ち着かせる必要があります。日本銀行が持っている国債を民間の銀行（市中銀行）に売ると、その代金として市中銀行から日本銀行へお金が流れます。これにより、世の中に出回る通貨の総量が減り、企業や個人への貸し出しが抑制されるため、景気を抑える効果があります。これを「売りオペレーション」と呼びます。